

春のふれあいまつり



【児玉学区】

■世帯数：3,023 世帯

■人 口：6,520 人

■面 積：0.668 k²

平成 24 年 4 月 1 日現在

1 活動・取り組みの内容

児玉コミュニティセンター及び児玉小学校の校庭を会場として、「春のふれあいまつり」を開催。延べ参加者数は約 1,500 人。

- ① 餅つき・豚汁の無料提供
- ② 参加券の販売：大人券 1 枚 500 円、子ども券 1 枚 300 円で町内会や子ども会を通じて事前に販売する。三角くじ引き券・お寿司券・飲み物券が付いている。
- ③ 防災ショー：起震車で震度 7 を体験する。
- ④ 模擬店：みたらし団子の販売。
- ⑤ 輪投げ
- ⑥ フリーマーケット



【住民への PR 方法】

チラシの回覧、掲示板への掲示

【アピールポイント】

実行委員会策定の事業計画・役割分担に基づき、運営メンバー 100 名が心を一つにして、学区住民を迎え、明るく笑顔でもてなすことができ、協調体制が強くなり、地域の活性化に弾みがついた。

2 きっかけ、背景

まつりの開催を通じ、地域住民の世代間の交流が進み、ふれあいの輪が広がる場となり、学区住民の連帯感と絆を強め、助け合いの意識の向上につながることを目指している。

3 実施の体制

(1) 運営メンバー

区政協力委員、民生委員児童委員、保健委員、消防団員、PTA、女性会、子ども会、老人クラブ、コミセン委員 計約 100 人

(2) 他団体との協力

企業、西消防署

(3) 運営協力

各種団体の若手に運営への参加を呼びかけ、積極的に関わるよう、声かけをしている。

4 実施のスケジュール

H24 年 第 1 回実行委員会を開催 骨子案を
1 月 策定

2 月 学区連絡協議会にて事業計画を提示
組回覧、ポスターの掲示、参加券の販売

3 月 第 2 回実行委員会を開催 役割分担
等を周知、参加者の集計と資材の発注
量を決定

4 月 春のふれあいまつりを開催
終了後、実行委員による反省会を開催

5 成果と課題

(1) 成果・効果

参加者の世代交代が進み、若い世代の参加者が増え、新しいふれあいの輪が育まれており、地域の活性化につながった。

(2) 今後の課題・展望

ボランティア活動の中の不測の事故に備えて、運営メンバーに対するボランティア保険（傷害・賠償）への加入の必要性が高まっている。

(3) メッセージ・アドバイス

ふれあい活動を通じて、地域住民が安心・安全に元気に暮らせるまちづくりのため、学区役員のボランティア活動に対する取組み意識の向上を、議論を重ねながら高めることが大事だと思う。

